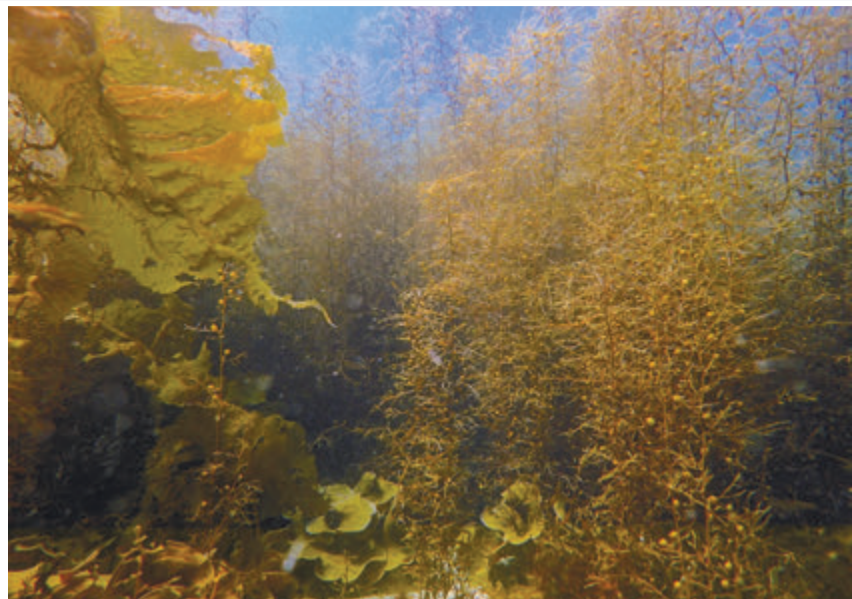


動物ふぁいる No.72
生き物ずかん

【かごしま水族館☎226-2233FAX223-7692】

かごしま水族館
ホンダワラ類

春から夏にかけて錦江湾沿岸の岩場には「海の森」が出現します。これらの正体は背の高い褐藻、ホンダワラ類です。ヤツマタモク、マメタワラ、アカモク。私たちがよく食べるヒジキもその仲間です。これらは1月ごろから伸び始め、春の終わりには2～3mまで大きく成長します。

この「海の森」ではイカの卵や稚魚の群れ、小型の甲殻類など、多くの生き物が見られます。これらはみな、外敵から身を守るための隠れ場や餌場としてここを利用しています。錦江湾にたくさんの種類の魚介類をはじめとする生き物が生息しているのも、「海の森」のおかげといっても過言ではありません。

夏の終わりには消えてしまう「海の森」は、錦江湾の生き物たちの命を育む、なくてはならない場所なのです。

かごしまフォロワー
かごフォロ

【広報課☎216-1133FAX216-1134】

コンテンポラリーダンサー
前田 麻緒 さん

昨年度「鹿児島市 春の新人賞」を受賞し、コンテンポラリーダンサーとして、本市文化振興事業への積極的な参加など、幅広く活躍する前田さんにお話を伺いました。

コンテンポラリーダンスは、決まった振り付けがなく、自由に表現するダンスのことです。幼い頃から表現することが好きで、小学3年生のときにクラシックバレエのレッスンに通い始め、高校まで続けたあと、中国で最もレベルの高い北京舞踏学院に留学しました。留学先ではコンテンポラリーダンスが必須科目で、初めての練習で先生に思いの外評価されたことがうれしくて夢中になりました。日本に戻ってからは東京で有名なコンテンポラリーダンサーの難易度の高いダンスに魅了され、その方に教わりながら自分の能力を高めたいと思い10年必死に取り組み、元々鹿児島へコンテンポラリーダンスのスキルを持って帰りたいという目標があったため、鹿児島に戻ることにしました。

コンテンポラリーダンスは自分色を表現するため、レッスンのときは楽しんでもらうことを心掛けています。今後は、ダンスをしたいと思う誰もが気軽に学べる場を提供しながら、私自身も鹿児島市出身のミュージシャンとコラボするなどして、もっとコンテンポラリーダンスを鹿児島に浸透させていきたいですね。
(インタビューの詳細は広報課Instagram「カゴシマファン」などでチェックを)

学芸員オススメ! No.90
市立美術館の逸品

【市立美術館☎224-3400FAX224-3409】

はしぐちごよう
橋口五葉
かみすずおんな
『髪梳ける女』

ジョブズも愛した五葉の新版画

1984年、スティーブ・ジョブズによるパソコンの新機種発表の場で、長い黒髪を梳く日本女性の画像が映し出されました。日本の新版画や美意識が、世界に向けて発信された瞬間でした。この作品は五葉の美人画の代表作で、長く豊かな髪を梳くしぐさや、首から肩にかけての流麗で美しい線が描かれています。

本市出身の画家、橋口五葉は1881年に樋之口町に生まれ、夏目漱石の「吾輩ハ猫デアル」の装丁デザインや浮世絵研究、日本画、洋画などさまざまな分野で才能を発揮しました。最晩年、新版画作家として己の道を見いだすも、1921年、満39歳で急逝しました。写実的な人体描写と、木版画の線の美が融合した五葉の作品は、浮世絵の手法を取り入れながらも近代的な感覚に満ち溢れ、今もなお清新な魅力を放っています。

※9月24日(日)まで開催する「夏の所蔵品展」で展示しています



ひろばサポーターがゆく

グリーンファーム
(観光農業公園)

【グリーンファーム☎345-3337FAX345-2822】

この夏、喜入の自然を満喫しよう

さまざまな体験プログラムを通じて喜入の大自然を満喫できる「グリーンファーム」。その中から今回は、この夏オススメの3つの体験をご紹介します。

1つ目は毎日開催されている「収穫体験」!



お店に並ぶ野菜がどのように成長し、収穫されているのかを実際に体験してほしいという思いから行われています。今の季節はミニトマトやピーマン、ナスなどの夏野菜を中心に収穫できるようです。

2つ目は「キャンプ施設」! バンガローやテントはもちろん、今年4月から設置された、区画ごとに分かれ、車の乗り入れができる「オートキャンプ場」もイチオシ! 天気の良い日には満点の星空も楽しめるんだとか。利用の際は早めの予約がお勧めです!



3つ目は「自然素材を使った工作体験」! 私は木を使ったミニカー作りに挑戦! 参加した子どもたちと一緒に楽しみてもらいました。夏休みには親子で協力して作れるさまざまな体験が予定されているそうです。

9面でも、季節に応じた毎月の最新の体験プログラムなどが紹介されていますのでご覧ください。日帰りでも宿泊でも楽しめるグリーンファーム。この夏、訪れてみてはいかがでしょうか?

ひろばサポーター
石塚

ホームページ